

地質ニュース

昭和 60 年 2 月

第 366 号

1 9 8 5

韓国の地質の特集に寄せて……………	藤井紀之…6
コリア半島の地史……………	韓国動力資源研究所…7
韓国動力資源研究所 — 韓国の資源・エネルギー研究センター —……………	韓国動力資源研究所…16
写真で見る韓国の地層……………	星野一男…21
コリア半島の造構運動の概略……………	星野一男…28
韓国の環状火成複合岩体について — 衛星画像による比較解剖学 —……………	村岡洋文…43
韓国の地熱……………	玉生志郎…50
韓国の石炭資源……………	藤井敬三 朴鉄洙…58
大島 O SHIMA……………	一色直記…64

口 絵 ランドサット映像で見る韓国

星野一男
村岡洋文

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

コリア半島の LANDSAT 映像モザイク写真

このモザイク写真は1980年から82年にかけて行われた ITIT による韓国動力資源研究所と日本地質調査所との共同研究“リモートセンシング技術による地質構造解析に関する研究”のために1980年に作製されたものである。9ヶのシーンをそれぞれフォールスカラー合成したものを接続して作られた。映像原画は LANDSAT 1, 2号によるもので当時入手し得る最も良質な原画を使用したが大田市を含む中東部のシーンはあまり良くない。

しかしコリア半島の地質構造の主要な特徴はこのモザイク写真にあますところなく表現されている。半島の主部は先カンブリア系であり硬質岩盤を基調とする大陸性地塊である。本図の中央附近に北東—南西に走る褶曲構造は沃川褶曲帯である。南東部は白亜紀以降の地層より構成されており緻密な先カンブリア地域とは異ったパターンを見ることが出来る。全般に非常に目立つのは2つの構造要素北北東—南南西の断層および環状火成構造であるがこれについての説明は本文に譲りたい。

(星野一男)

3月号予定目次

海洋地質部の研究の概要

海底熱水活動に伴う重金属資源
の評価手法に関する研究

日本周辺海域の海洋地質調査活動

インド洋・太平洋プレート境界海域における
島弧・海溝系の地質構造に関する研究

深海曳航式地震探査の現状とその開発